



水のひびき

平成22年度全国統一防火標語

「消したかな」 あなたを守る 合言葉

秋も深まりを見せてくる頃になると、ストーブなどの暖が恋しくなってきます。それはまた、火災シーズンの到来をも意味します。消防団では、車両の整備・点検、放水試験を行い火災シーズンに備えます。さらには、夜警などを通して火災期への注意を喚起し、火気取り扱いの留意事項を地元を発信しています。



車両特別整備



車両点検



放水試験



秋の全国火災予防運動夜警

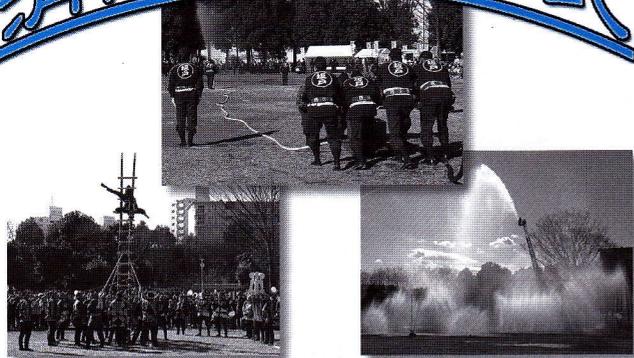


分列行進



火災予防街頭キャンペーン

消防出初め式



出初め式の由来

1659年(万治2年)に時の老中稲葉伊代守正則が定火消し総勢4隊を率いて上野東照宮前で1月4日に氣勢を上げた事が由来とされており、現在各地の消防機関で伝統行事として行われております。

日時:平成23年1月9日(日)9:05開式
場所:千代田公園〔坂戸市千代田5-2〕
東武東上線若葉駅東口下車徒歩10分

入社十二年目、現役バリバリの電車の運転士さんだ。
責任感が強く仕事はもちろん、消防団においても専任班長として部長を助け、若手の多い第1



三芳野分団第1部
班長(団員歴十年)
山村 晋一さん
西武鉄道勤務
電車運転士

部をぐいぐいと引つ張り、リーダーシップを発揮する。
奥様と三人のお子さんに「気をつけて」と見送られ、「故郷坂戸を災害から守る消防団の使命」に誇りと責任を持っている。
仕事から休みが不規則なため、勤務をやりくりするのが大変と言うが、ラッパ隊もかけ持ちして頑張る。
ジリリリッ。掛けた六つの目覚ましが一斉に鳴る。
「出発進行」
やがて電車は、さわやかな声とともに滑るようにホームから動き出した。



坂戸を守る消防団の紹介
坂戸市消防団勝呂分団第1部

今回取材で訪れたのは、坂戸市消防団勝呂分団第1部です。勝呂の石井地区の安全と安心を守るために、吉川部長をはじめ団員十三名で日々活動を行っています。

団員の年齢層は最年長が四十歳、最年少が二十六歳で、団員の職種は会社員、郵便局員、自営業と様々な仕事に就いています。

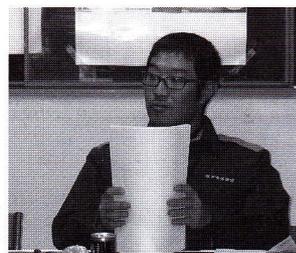
勝呂分団第1部のアピールポイントを伺うと「団員同士がとても仲良く、団結力があることです」と部長をはじめ団員一同口をそろえます。

また、消防団の活動に関係なく消防団OBをまじえて食事に行ったり、バーベキューを行っ



たり、地元小学校で行われる市民体

育祭に参加するなど、地域との関わり合いも大切にしています。



個性派集団をまとめる吉川部長

消防団活動を行う上で苦労していることは、サラリーマンが多いので、平日の日に起こる火災・災害等、有事への対応が難しいことや、他の消防団と同じく新入団員の確保が難しいことだと表情を曇らせます。

最後に、「地元地域の期待に応えられるよう、これからも団員一同力を合わせて、頑張った活動していきたい」と語っていました。



勝呂分団第3部
地元地域の防災訓練に参加

過日、勝呂管内の栄地区防災会主催で防災訓練が行われました。

当日は、一般参加者が訓練用の消火器を使って消火訓練を行いました。

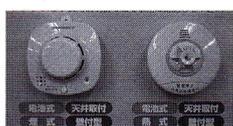
勝呂分団第3部の団員達が、消火器の使い方を一人ひとりに熱心に指導していました。



住宅用火災警報器の取り付け協力します

消防団では、消防署と協力して、住宅用火災警報器の訪問設置活動を行っています。

対象は住宅用火災警報器を購入済みの障害者および六十五歳以上の単身もしくは二人世帯で警報器を購入しても設置できない世帯になります。



お問い合わせ先は
坂戸・鶴ヶ島消防本部
予防課予防担当
〇四九二二八一三二一七

※おとうさんといっしょ!

勝呂分団第2部
馬場正寿団員
吉太くん
仁太くん
千尋ちゃん



三芳野分団第2部
小島宣靖団員
雅美夫人
夕芽ちゃん
幹太郎くん
潤之助くん
伸之助くん



編集後記

勝呂分団第1部の取材をしていると「苦労様です」とスーツ姿の男性が敬礼をしてくれました。その男性は勝呂の駐在さんでした。地域防災の要と地域防犯の要が言葉交わす姿は、勝呂地区が安全で安心な地域であることを象徴するいち場面でした。

さらに、一人ひとりが防災・防犯への意識を高めれば、さらに安全で安心な地域をつくり上げることができそうです。ご協力よろしくお願ひします。

来たれ!! 消防団



坂戸市消防団ではふるさとの安全を守る消防団員を募集しています
資格：坂戸市内在住・在勤の18歳～45歳未満の方
お問い合わせ：坂戸・鶴ヶ島消防本部庶務課
(☎ 281-3118 内線234)